

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **11073576 A**

(43) Date of publication of application: **16.03.99**

(51) Int. Cl.

**G07G 1/12**  
**G07G 1/12**

(21) Application number: **09234529**

(71) Applicant: **TEC CORP**

(22) Date of filing: **29.08.97**

(72) Inventor: **ARAI KAZUHIRO**

(54) **PROCESSOR AND METHOD FOR ARTICLE  
SALES DATA PROCESSING AND  
COMPUTER-READABLE STORAGE MEDIUM  
STORED WITH ARTICLE SALES DATA  
PROCESSING PROGRAM**

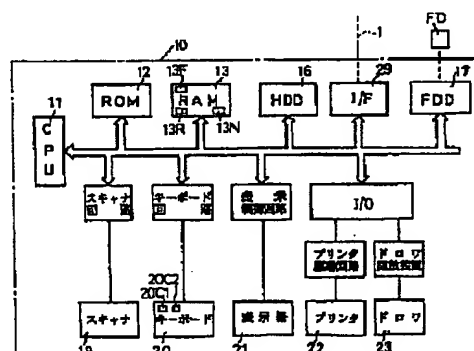
matching control means (11, 12) performs retrieval from the winning number file 13N to inquire whether or not there is a matching winning number.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO

(57) Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To speedily and accurately carry out a print issue of reference numbers to drawing, etc., by determining winning numbers according to inputted drawing conditions and inquiring whether or not an inputted reference ticket number matches a winning number.

**SOLUTION:** When reference ticket issue conditions are inputted by using an issue condition input means 20C1, reference ticket print issue control means (11, 12) generates reference ticket print issue data and derives a printer 22 to print and issue a certain number of reference tickets. When the drawing coordinates are inputted by using a drawing condition input means 20C2, winning numbers drawing control means (11, 12) performs a drawing process by using a random function within the print issue number. The winning numbers are stored in a winning number file 13N by winning number storage control means (11, 12). Further, the number of a reference ticket is read and inputted by using a reference ticket number read input means 19 and number



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-73576

(43)公開日 平成11年(1999) 3月16日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>  
G 0 7 G 1/12

識別記号  
3 6 1  
3 2 1

F I  
G 0 7 G 1/12

3 6 1 Z  
3 2 1 Z

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 9 頁)

(21)出願番号 特願平9-234529

(22)出願日 平成9年(1997) 8月29日

(71)出願人 000003562

株式会社テック

静岡県田方郡大仁町大仁570番地

(72)発明者 新井 和洋

静岡県田方郡大仁町大仁570番地 株式会  
社テック大仁事業所内

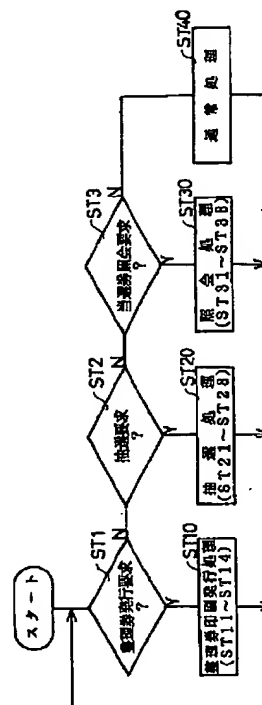
(74)代理人 弁理士 長島 悦夫

(54)【発明の名称】 商品販売データ処理装置および方法並びに商品販売データ処理プログラムを記憶したコンピュータで読取り可能な記憶媒体

(57)【要約】

【課題】整理券の印刷発行から抽選等までを迅速かつ正確に行える機能を備えた取扱い簡単な商品販売データ処理装置等を提供する。

【解決手段】発行条件入力手段20C1と、整理券印刷発行制御手段(11, 12)と、抽選条件入力手段20C2と、当選番号抽出制御手段(11, 12)と、当選番号記憶制御手段(11, 12)と、整理券番号読取入力手段(19)と、照会済記憶制御手段(11, 12)とを設け、印刷発行要求および入力整理券発行条件に基づき印刷発行手段(22)を利用して整理券50を印刷発行可能、抽選要求および入力抽選条件に基づき整理券発行条件に含まれる番号範囲内で当選番号を抽出可能かつ当選番号ファイル13Nに記憶可能に形成し、さらに照会要求に基づき読取入力された整理券番号が記憶当選番号に一致しているか否かを照会可能かつ照会済整理券番号についてその旨を当選番号ファイル13Nに記憶可能に形成されている。



(2)

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 登録商品について会計処理しかつ印刷発行手段を用いてレシートを印刷発行可能に形成された商品販売データ処理装置において、

要求に基きかつ入力された整理券発行条件にしたがい前記印刷発行手段を利用して整理券を印刷発行可能であるとともに、要求に基きかつ入力された抽選条件にしたがい該整理券発行条件に含まれる番号範囲内で当選番号を抽出可能かつ当選番号を記憶可能に形成し、さらに要求に基きかつ入力された整理券番号が記憶当選番号のいずれかに一致しているか否かを照会可能かつ照会済の整理券番号について照会済である旨を記憶可能に形成した商品販売データ処理装置。

【請求項2】 登録商品について会計処理しかつ印刷発行手段を用いてレシートを印刷発行可能に形成された商品販売データ処理装置において、

整理券発行条件を入力する発行条件入力手段と、入力された整理券発行条件にしたがい前記印刷発行手段を利用して整理券を印刷発行する整理券印刷発行制御手段と、抽選条件を入力する抽選条件入力手段と、入力された抽選条件にしたがい該整理券発行条件に含まれる番号範囲内で当選番号を抽出する当選番号抽出制御手段と、抽出された当選番号を当選番号ファイルに記憶する当選番号記憶制御手段と、整理券から当該整理券番号を読み取り入力する整理券番号読み取り入力手段と、読み取り入力された整理券番号が当選番号ファイルに記憶されている当選番号のいずれかに一致しているか否かを照会する番号照会制御手段と、照会済の整理券番号については照会済である旨を当選番号ファイルに記憶する照会済記憶制御手段とを設けた、商品販売データ処理装置。

【請求項3】 登録商品について会計処理しかつ印刷発行手段を用いてレシートを印刷発行する商品販売データ処理方法であって、

要求に基きかつ入力された整理券発行条件にしたがい前記印刷発行手段を利用して整理券を印刷発行し、要求に基きかつ入力された抽選条件にしたがい該整理券発行条件に含まれる番号範囲内で当選番号を抽出しかつその当選番号を記憶し、さらに要求に基きかつ入力された整理券番号が記憶当選番号のいずれかに一致しているか否かを照会し、照会済の整理券番号については照会済である旨を記憶しておく商品販売データ処理方法。

【請求項4】 登録商品について会計処理しかつ印刷発行手段を用いてレシートを印刷発行させる商品販売データ処理プログラムを記憶したコンピュータで読み取り可能な記憶媒体であって、

前記商品販売データ処理プログラムがこれを読み取ったコンピュータに、要求があった場合に入力された整理券発行条件にしたがい前記印刷発行手段を利用して整理券を印刷発行させ、要求があった場合に入力された抽選条件にしたがい該整理券発行条件に含まれる番号範囲内で当

2

選番号を抽出させかつその当選番号を当選番号ファイルに記憶させ、さらに要求がありかつ整理券番号が入力された場合に当該整理券番号が当選番号ファイルに記憶されている当選番号のいずれかに一致しているか否かを照会させ、照会済の整理券番号について照会済の旨を当選番号ファイルに記憶させるものとされている商品販売データ処理プログラムを記憶したコンピュータで読み取り可能な記憶媒体。

## 【発明の詳細な説明】

10 【0001】

【発明の属する利用分野】本発明は、登録商品について会計処理しかつ印刷発行手段を用いてレシートおよび整理券を印刷発行可能な商品販売データ処理装置および方法並びに商品販売データ処理プログラムを記憶したコンピュータで読み取り可能な記憶媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】商品販売データ処理装置（例えば、電子キャッシュレジスタ）は、商品登録機能、会計処理機能等を有する。すなわち、図9において、スキャナを用いて商品情報を入力（ST41のYES）すると、制御部が、商品ファイルから商品名、価格（単価）等を求めて売上ファイルに記憶（商品登録）する（ST42）。1取引終了宣言としての締め操作（ST43のYES）を

30 【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところで、かかる装置を導入した店舗等において、ある特定商品を個数限定で提供したり、特別値引きして販売する場合、客が殺到し混乱することを回避するために、整理券を配っている。さらに、来店客が多数の場合や特定商品の入荷個数が少ない場合には、整理券を所持する客について抽選を行って当選者を発表し、さらに当選券を渡している。

【0004】しかし、整理券の作成（手書き・コピー・裁断等）や抽選会に多くの手間と時間が掛かり、本装置を利用した本来的な商品販売業務が停滞し業務効率も低下する。また、抽選の客観性、公平性を担保しかつそれを客に正確に周知させることが難しい。人為的ミスも発生し易くトラブルの元になる。

【0005】本発明の目的は、整理券の印刷発行から抽選等までを迅速かつ正確に行える機能を備えた取扱い簡単な商品販売データ処理装置および方法を提供することにある。また、商品販売データ処理プログラムを記憶したコンピュータで読み取り可能な記憶媒体を提供する。

【0006】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明は、登録商品について会計処理しかつ印刷発行手段を用いてレシ

50

(3)

3

ートを印刷発行可能に形成された商品販売データ処理装置において、要求に基づきかつ入力された整理券発行条件にしたがい前記印刷発行手段を利用して整理券を印刷発行可能であるとともに、要求に基づきかつ入力された抽選条件にしたがい該整理券発行条件に含まれる番号範囲内で当選番号を抽出可能かつ当選番号を記憶可能に形成し、さらに要求に基づきかつ入力された整理券番号が記憶当選番号のいずれかに一致しているか否かを照会可能かつ照会済の整理券番号について照会済である旨を記憶可能に形成された商品販売データ処理装置である。

【0007】かかる発明では、整理券発行条件（例えば、発行枚数、発行開始番号等）を入力して発行要求をすると、印刷発行手段を利用して当該整理券発行条件にしたがった整理券が正確かつ迅速に印刷発行される。各整理券は、各客に配られる。発行された整理券に関し、抽選条件（等位、等位毎の個数等）を入力して抽選要求をすると、入力抽選条件にしたがい整理券発行条件に含まれる番号範囲内で当選番号が抽出されかつ記憶される。客観的かつ公平性を担保できる。

【0008】その後、照会要求して客持参の整理券に印刷された整理券番号を例えば読取り入力すると、当該整理券番号が先に記憶されている当選番号のいずれかに一致しているか否かが照会される。取扱いが極めて簡単である。当選番号のいずれかに一致した整理券は、有効とされる。当選番号のいずれにも一致しない整理券は、落選である。しかも、照会された整理券番号は、照会済である旨が記憶される。無駄な重複照会や重複当選を排斥できる。よって、整理券の印刷発行から抽選等までを迅速かつ正確に行えとともに、客満足度および業務能力を向上できる。

【0009】また、請求項2の発明は、登録商品について会計処理しかつ印刷発行手段を用いてレシートを印刷発行可能に形成された商品販売データ処理装置において、整理券発行条件を入力する発行条件入力手段と、入力された整理券発行条件にしたがい前記印刷発行手段を利用して整理券を印刷発行する整理券印刷発行制御手段と、抽選条件を入力する抽選条件入力手段と、入力された抽選条件にしたがい該整理券発行条件に含まれる番号範囲内で当選番号を抽出する当選番号抽出制御手段と、抽出された当選番号を当選番号ファイルに記憶する当選番号記憶制御手段と、整理券から当該整理券番号を読取り入力する整理券番号読取り入力手段と、読取り入力された整理券番号が当選番号ファイルに記憶されている当選番号のいずれかに一致しているか否かを照会する番号照会制御手段と、照会済の整理券番号については照会済である旨を当選番号ファイルに記憶する照会済記憶制御手段とを設けた商品販売データ処理装置である。

【0010】かかる発明では、発行条件入力手段を用いて整理券発行条件（例えば、発行枚数、発行開始番号等）を入力しかつ発行要求をすると、整理券印刷発行制

4

御手段が働き、印刷発行手段を利用して当該整理券発行条件にしたがった整理券が正確かつ迅速に印刷発行される。整理券は各客に配られる。発行された整理券に関し、抽選条件入力手段を用いて抽選条件（等位、等位毎の個数等）を入力しかつ抽選要求をすると、当選番号抽出制御手段が、入力抽選条件にしたがい整理券発行条件に含まれる番号範囲内で当選番号を抽出する。抽出された当選番号は、当選番号記憶制御手段によって当選番号ファイルに記憶される。客観的かつ公平性を担保できる。

10

【0011】その後、整理券番号読取り入力手段を用いて客持参の整理券から当該整理券番号を読取り入力しかつ照会要求をすると、番号照会制御手段が、読取られた整理券番号が当選番号ファイルに記憶されている当選番号のいずれかに一致しているか否かを照会する。取扱いが簡単である。当選番号のいずれかに一致した整理券は、有効とされる。当選番号のいずれにも一致しない整理券は、落選である。この照会結果は、照会済記憶制御手段によって、当選番号ファイルに記憶される。当該整理券番号が照会済である旨として記憶される。無駄な重複照会や重複当選を排斥できる。よって、請求項1の発明の場合と同様な作用効果を奏することができるとともに、取扱いが極めて簡単である。

20

【0012】さらに、請求項3の発明は、登録商品について会計処理しかつ印刷発行手段を用いてレシートを印刷発行する商品販売データ処理方法であって、要求に基づきかつ入力された整理券発行条件にしたがい前記印刷発行手段を利用して整理券を印刷発行し、要求に基づきかつ入力された抽選条件にしたがい該整理券発行条件に含まれる番号範囲内で当選番号を抽出しかつその当選番号を記憶し、さらに要求に基づきかつ入力された整理券番号が記憶当選番号のいずれかに一致しているか否かを照会し、照会済の整理券番号については照会済である旨を記憶しておく商品販売データ処理方法である。

30

【0013】かかる発明では、印刷発行要求がなされると、入力された整理券発行条件にしたがい印刷発行手段を利用して整理券が印刷発行される。抽選要求がなされると、入力された抽選条件にしたがい整理券発行条件に含まれる番号範囲内で当選番号が抽出されかつその当選番号が記憶される。さらに照会要求がなされると、例えば整理券から読取り入力された当該整理券番号が記憶当選番号のいずれかに一致しているか否かが照会される。照会済の整理券番号については照会済である旨が記憶される。したがって、整理券の印刷発行から抽選等までを迅速かつ正確に行えとともに、客満足度および業務能力を向上できる。

40

【0014】さらにまた、請求項4の発明は、登録商品について会計処理しかつ印刷発行手段を用いてレシートを印刷発行させる商品販売データ処理プログラムを記憶したコンピュータで読取り可能な記憶媒体であって、前

50

5

記商品販売データ処理プログラムがこれを読取ったコンピュータに、要求があった場合に入力された整理券発行条件にしたがい前記印刷発行手段を利用して整理券を印刷発行させ、要求があった場合に入力された抽選条件にしたがい該整理券発行条件に含まれる番号範囲内で当選番号を抽出させかつその当選番号を当選番号ファイルに記憶させ、さらに要求がありかつ整理券番号が入力された場合に当該整理券番号が当選番号ファイルに記憶されている当選番号のいずれかに一致しているか否かを照会させ、照会済の整理券番号について照会済の旨を当選番号ファイルに記憶させるものとされている商品販売データ処理プログラムを記憶したコンピュータで読取り可能な記憶媒体である。

【0015】かかる発明では、記憶媒体に記憶された商品販売データ処理プログラムを読取ったコンピュータは、印刷発行要求があった場合に入力された整理券発行条件にしたがい印刷発行手段を利用して整理券を印刷発行し、抽選要求があった場合に入力された抽選条件にしたがい該整理券発行条件に含まれる番号範囲内で当選番号を抽出しかつその当選番号を当選番号ファイルに記憶する。さらに照会要求がありかつ例えば整理券から整理券番号が読取り入力された場合に当該整理券番号が当選番号ファイルに記憶されている当選番号のいずれかに一致しているか否かを照会し、照会済の整理券番号について照会済の旨を当選番号ファイルに記憶する。

【0016】したがって、この記憶媒体をコンピュータに読取りさせれば、当該コンピュータを、整理券の印刷発行から抽選等までを迅速かつ正確に行えるという格別の作用効果を奏することのできる商品販売データ処理装置に簡単に構築することができかつ当該処理方法を実行することができる。

【0017】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施形態について図面を参照して説明する。

(第1の実施形態) 本商品販売データ処理方法を実行するために好適な商品販売データ処理装置は、基本的構成が図1に示す電子キャッシュレジスタ10とされ、かつ発行条件入力手段20C1と、整理券印刷発行制御手段(11, 12)と、抽選条件入力手段20C2と、当選番号抽出制御手段(11, 12)と、当選番号記憶制御手段(11, 12)と、整理券番号読取入力手段(19)と、照会済記憶制御手段(11, 12)とを設け、印刷発行要求に基きかつ入力された整理券発行条件にしたがい印刷発行手段(22)を利用して整理券50を印刷発行可能であるとともに、抽選要求に基きかつ入力された抽選条件にしたがい整理券発行条件に含まれる番号範囲内で当選番号を抽出可能かつ当選番号を当選番号ファイル13Nに記憶可能に形成し、さらに照会要求に基き整理券50から読取り入力された当該整理券番号が記憶当選番号のいずれかに一致しているか否かを照会可能

(4)

6

かつ照会済の整理券番号について照会済である旨を当選番号ファイル13Nに記憶可能に形成されている。

【0018】図1において、電子キャッシュレジスタ10は、CPU11とROM12とRAM13とHDD16とFDD17とスキャナ19とキーボード20と表示器21とプリンタ22と自動開放型のドロワ23とデータ通信回線(例えば、LAN)1用のインターフェイス(I/F)29とを含み、商品登録機能、会計処理機能等を実行可能である。

10 【0019】なお、HDD(ハードディスク装置)16およびFDD(フロッピーディスク装置)17については、第2の実施形態において説明する。

【0020】商品登録機能および会計処理機能は、従来例(図9のST41~ST45)の場合と同じ(図2のST40)であるが、さらに整理券50の印刷発行・抽選・照会機能(図2のST10, ST20, ST30)を有する。

20 【0021】この整理券に係る各機能は、各要求(ST1のYES, ST2のYES, ST3のYES)に基き実行される。しかし、各要求は、例えば当該各要求キーを用いた手動に限定されない。例えば、抽選要求を整理券50の印刷発行後に自動的に発生し、照会要求を整理券番号の読取り入力後に自動的に発生させる等である。また、各要求と当該各入力との順序は、どちらを先に行ってもよい。

30 【0022】このためRAM13内には、商品ファイル13Fおよび売上ファイル13Rの他に、当選番号ファイル13Nが設けられている。また、キーボード20には、整理券発行条件を入力するための発行条件入力手段20C1および抽選条件を入力するための抽選条件入力手段20C2が設けられている。

40 【0023】ここに、整理券印刷発行制御手段は、整理券発行要求(図2のST1のYES)に基き発行条件入力手段20C1を用いて入力(図3のST11)された整理券発行条件にしたがい整理券印刷発行データを作成(ST12)しかつレシート印刷発行用のプリンタ22を利用して整理券50を印刷発行制御する手段で、整理券印刷発行制御プログラムを格納させたROM12とCPU11とから形成され、図3のST13で実行される。整理券発行条件に含まれる発行枚数Nsだけ印刷発行される(ST14のYES)。

50 【0024】整理券50には、文字として印刷された整理券番号(例えば、“9999”)等の他に、図6に示すようにバーコード化された整理券情報(当該整理券番号も含む。)が印刷されている。スキャナ(整理券番号読取入力手段)19での読取り入力の容易化を図る。したがって、図7に示す如く、商品情報(例えば、“電子玩具”)をもバーコード化して印刷した整理券51としてもよい。もとより、整理券番号読取入力手段の構成・機能によっては、図8に示す整理券情報および商品情報

(5)

7

のいずれもバーコード化して印刷しない整理券52としてもよい。照会に際する整理券番号（例えば、No. 9999）の入力は、キー操作等によるものであってもよいからである。

【0025】当選番号抽出制御手段は、抽選要求（図2のST2のYES）に基き抽選条件入力手段20C2を用いて入力（図4のST21～ST23）された当選番号の抽出条件にしたがい当選番号を抽出する手段で、当選番号抽出制御プログラムを格納させたROM12とCPU11とから形成され、図4のST24で実行される。

【0026】すなわち、入力（図4のST21～ST23）された抽出条件にしたがいかつ発行条件入力手段20C1を用いて入力された整理券発行条件に含まれる番号範囲内で当選番号を抽出する（ST24）。この抽選は、抽選条件に含まれる例えば等位や等位毎の個数ごとに行われる（ST26、ST27）。この第1の実施形態では、ランダム関数（プログラム）を利用して客観的かつ公平に抽選することができる。

【0027】抽出された当選番号は、当選番号記憶制御プログラムを格納させたROM12とCPU11とからなる当選番号記憶制御手段によって、当選番号ファイル13Nに記憶される（ST25）。

【0028】さらに、この実施形態では、抽選結果出力制御手段（CPU11、ROM12）が、当選番号と等位等とを表示器21に表示出力しかつプリンタ22でレシート用紙に印字出力するものとされている（ST28）。担当者の確認便宜および掲示板等への発表便宜等のためである。

【0029】番号照会制御手段は、照会要求（図2のST3のYES）に基きかつ整理券番号読取入力手段（スキャナ19）を用いて図6に示す整理券50から読取り入力（図5のST31のYES）された当該整理券番号が当選番号ファイル13Nに記憶されている当選番号のいずれかに一致しているか否かを照会する手段で、番号照会制御プログラムを格納させたROM12とCPU11とから形成され、図5のST32～ST34で実行される。

【0030】すなわち、番号照会制御手段（11、12）は、当選番号ファイル13Nを検索（ST32）し、まず当該整理券番号に照会済の旨が記憶されているか否かをチェックする。つまり、一度照会した整理券50は使用済であるから、未使用番号であることを確認（ST33のYES）するわけである。

【0031】そして、当選番号ファイル13Nに記憶されている当選番号のいずれかに一致（ST34のYES）している場合に、当選とする。この当選券（整理券）は、当選表示出力制御手段（CPU11、ROM12）によって当選番号、等位等とともに表示器21に表示出力（ST35）される。なお、プリンタ22でレシ

8

ート用紙に印字出力可能に形成してもよい。

【0032】この第1の実施形態では、当該当選券を受けると直ちに商品登録（ST37）をできるように形成してある。なお、照会済（使用済）や落選の整理券番号は、エラー処理（ST38）として、表示等される。

【0033】照会済記憶制御手段は、照会済記憶制御プログラムを格納させたROM12とCPU11とから形成され、図5のST36で実行される。一旦照会された整理券番号は照会済番号であるから、当選番号ファイル13Nに照会済の旨が記憶される。したがって、これ以降は、未使用番号と認められることがない（ST33のNO）。

【0034】かかる第1の実施形態によれば、整理券50を作成・発行する場合には、キーボード20を用いて整理券発行要求（図2のST1）をする。整理券印刷発行処理プログラム（ST10）が起動する。発行条件入力手段20C1を用いて整理券発行条件（例えば、スタイル、発行枚数Ns、発行開始番号等）を入力（図3のST11のYES）する。すると、整理券印刷発行制御手段（CPU11、ROM12）が、整理券印刷発行データを作成（ST12）しかつプリンタ（印刷発行手段）22を駆動（利用）して発行枚数Nsだけ整理券50を印刷発行する（ST13、ST14のYES）。整理券50は、印刷後にプリンタ22に付属するカッターで一枚ずつにカットされて発行される。

【0035】したがって、商品販売業務を停滞させない時間（例えば、店内閑散時や閉店後の時間）を利用してその要求と整理券発行条件の入力とをするだけで、フォームが同じで整理券番号が重複しない多数枚の整理券を迅速かつ正確に印刷発行することができる。業務能率が低下しない。つまり、従来の煩雑で手間の掛かる作成（手書き・コピー・裁断等）作業を一掃できる。

【0036】抽選は、印刷発行直後でも後日に、しかも公開で行うことができる。客観性、公平性を担保できる。すなわち、キーボード20を用いて抽選要求（図2のST2）をする。抽選処理プログラム（ST20）が起動する。そして、抽選条件入力手段20C2を用いて抽選条件（例えば、等位、等位毎の個数等）を入力（図4のST21～ST23）する。すると、当選番号抽出制御手段（11、12）が、印刷発行枚数内からランダム関数を利用して抽選処理（ST24）する。等位かつ等位毎個数ごとに行われる（ST26、ST27）。当選番号（整理券番号）は、当選番号記憶制御手段（11、12）によって当選番号ファイル13Nに記憶（ST25）される。

【0037】しかも、この第1の実施形態では、抽選結果が表示器21に表示され、またプリンタ22で印刷することもできるから、等位かつその個数ごとの当選番号をその場で確認することができる。また、掲示板に公開して客に正確に周知させることもできる。さらに、抽選

9

は、印刷発行後に、その要求（図2のST2）をするものとされているので、抽選前に例えば不足分（整理券）等を追加印刷発行（図3）し、追加印刷発行分を含む総発行枚数に対して抽選できる。

【0038】客の持参した整理券50が当選か落選かについては、各個人について行うことができる。当選券照会要求（図2のST3）をすると、当選券照会処理プログラム（ST30）が起動する。そして、整理券番号読取入力手段（19）を用いて当該整理券の番号を読取入力（図5のST31）する。すると、番号照会制御手段（11、12）が、当選番号ファイル13Nを検索（ST32）して、未使用番号であることを条件（ST33のYES）に、一致する当選番号があるか否なかを照会（ST34）する。当選番号と一致する整理券番号については、その等位が表示器21に表示される（ST3）。人為的ミスなくかつ電子的速度で迅速に照会できる。

【0039】しかる後に、照会済記憶制御手段（11、12）が、当該整理番号を当選番号ファイル13Nに記憶する（ST36）。重複当選実効を防止して公平を担保するとともに不正を排除できる。落選の番号についても記憶する。無駄な照会処理を間接的に軽減しつつ未使用番号についての照会処理速度をより速められる。

【0040】当選者については、直ちに、当該商品を提供し、商品登録（ST37）を行える。この点からも顧客サービスを向上できる。また、落選者については、エラー処理（ST38）される。使用済整理券については、その旨が表示される。しかし、未使用で落選整理券の場合（ST34のNO）には、次回のご案内や感謝御礼等を表示する（ST38）。また、次回の整理券を優先して配布する予定リストに記憶させることもできる。

【0041】しかして、この第1の実施形態によれば、発行条件入力手段20C1と、整理券印刷発行制御手段（11、12）と、抽選条件入力手段20C2と、当選番号抽出制御手段（11、12）と、当選番号記憶制御手段（11、12）と、整理券番号読取入力手段（19）と、照会済記憶制御手段（11、12）とを設け、入力整理券発行条件にしたがい印刷発行手段（22）を利用して整理券50を印刷発行可能であるとともに、入力抽選条件にしたがい整理券発行条件に含まれる番号範囲内で当選番号を抽出可能かつ当選番号を当選番号ファイル13Nに記憶可能に形成し、さらに整理券50から読取入力された当該整理券番号が記憶当選番号のいずれかに一致しているか否かを照会可能かつ照会済の整理券番号について照会済である旨を当選番号ファイル13Nに記憶可能に形成されているので、客観性、公平性を担保しつつ整理券50の印刷発行から抽選・照会までを迅速かつ正確に行えるとともに取扱い簡単でかつ不正行為も排斥できる。

【0042】また、当選表示出力制御手段（CPU1

(6)

10

1、ROM12）によって当選番号、等位等とともに表示器21に表示出力（ST35）かつプリンタ22でレシート用紙に印字出力（ST35）するように形成されているので、等位かつその個数ごとの当選番号をその場で確認することができる。また、掲示板に公開して客に正確に周知させることもできる。

【0043】また、整理券番号読取入力手段が商品情報を読取入力するためのスキャナ19を兼用するものとして形成されかつ整理券50にバーコード化された整理券情報が印刷されているので、当選番号の照会をより迅速に行えかつ取扱いが一段と容易である。

【0044】さらに、整理券50の印刷発行、抽選および当選券の照会が当該各要求をすることにより実行可能に形成されているので、それぞれに独立におこなえる。したがって、例えば、印刷発行および商品販売業務に支障を与えずに抽選会を公開で行える。一層の公平性を高められる。

【0045】（第2の実施形態）この第2の実施形態は、コンピュータに記憶媒体（フロッピーディスク…FD）から商品販売データ処理プログラムを読取らせ、第1の実施形態の場合と同様な商品販売データ処理装置（10）を構築しかつその方法を実行可能としてある。

【0046】つまり、第1の実施形態では、整理券印刷発行制御手段、当選番号抽出制御手段、当選番号記憶制御手段および照会済記憶制御手段が図2～図5に示す商品販売データ処理プログラムを格納させたROM12とCPU11とから形成されていたが、この第2の実施形態では、便宜的に図1に示したFDD17を介して記憶媒体（FD）から図2から図5に示す商品販売データ処理プログラム（ST1～ST3、ST10～ST14、ST20～ST28、ST30～ST38）を読取にかつHDD16に格納するとともにRAM13に展開させて実行可能に形成してある。その他は、第1の実施形態の場合と同様である。

【0047】すなわち、商品販売データ処理プログラムがこれを読取ったコンピュータ（10）に、要求があった場合に入力された整理券発行条件にしたがい印刷発行手段（プリンタ22）を利用して整理券50を印刷発行させ、要求があった場合に入力された抽選条件にしたがい該整理券発行条件に含まれる番号範囲内で当選番号を抽出させかつその当選番号を当選番号ファイル13Nに記憶させ、さらに要求がありかつ整理券50から整理券番号が例えば読取入力された場合に当該整理券番号が当選番号ファイルに記憶されている当選番号のいずれかに一致しているか否かを照会させ、照会済の整理券番号について照会済の旨を当選番号ファイル13Nに記憶させるものとされている。なお、整理券番号は、例えばキー操作によって入力されたものであってもよい。

【0048】したがって、コンピュータ（10）にこの記憶媒体（FD）を読込ませれば、当該コンピュータを



(7)

11

第1の実施形態の場合と同様な商品販売データ処理装置（電子キャッシュレジスタ10）に簡単に構築できかつその方法を容易に実施させることができる。

【0049】なお、図1に示すHDD16やROM12を着脱可能としかつ図2～図5に示すプログラムを格納させておけば、当該HDDやROMも記憶媒体となる。もとより、記憶媒体は、上記に限定されずFDD、CD-R、DVD-ROM、MO、磁気テープ等から形成してもよい。

【0050】

【発明の効果】請求項1の発明によれば、入力整理券発行条件にしたがい印刷発行手段を利用して整理券を印刷発行可能であるとともに、入力抽選条件にしたがい該整理券発行条件に含まれる番号範囲内で当選番号を抽出可能かつ当選番号を記憶可能に形成し、さらに整理券から入力された整理券番号が記憶当選番号のいずれかに一致しているか否かを照会可能かつ照会済の整理券番号について照会済である旨を記憶可能に形成されているので、客観性、公平性を担保しつつ整理券の印刷発行から抽選・照会までを迅速かつ正確に行えらるとともに、客満足度および業務能率を向上できる。また、不正行為も排斥することができる。

【0051】また、請求項2の発明によれば、発行条件入力手段と、整理券印刷発行制御手段と、抽選条件入力手段と、当選番号抽出制御手段と、当選番号記憶制御手段と、整理券番号読取入力手段と、番号照会制御手段と、照会済記憶制御手段とを設け、入力整理券発行条件にしたがい整理券を印刷発行可能であるとともに、入力抽選条件にしたがい当選番号を抽出可能かつ記憶可能に形成し、さらに整理券から読取入力された整理券番号が記憶当選番号のいずれかに一致しているか否かを照会可能かつ照会済の整理券番号について照会済である旨を記憶可能に形成されているので、上記請求項1の発明の場合と同様な効果を奏することができるとともに、取扱いが極めて簡単である。

【0052】さらに、請求項3の発明によれば、入力発行条件にしたがい印刷発行手段を利用して整理券を印刷発行し、入力抽選条件にしたがい整理券発行条件に含まれる番号範囲内で当選番号を抽出しかつその当選番号を記憶し、さらに入力された整理券番号が記憶当選番号のいずれかに一致しているか否かを照会し、照会済の整理券番号については照会済である旨を記憶しておく商品販売データ処理方法であるから、整理券の印刷発行から抽選等までを迅速かつ正確に行えらるとともに、客満足度および業務能率を向上できる。

【0053】さらにまた、請求項4の発明によれば、商品販売データ処理プログラムがこれを読取ったコンピュータに、入力発行条件にしたがい印刷発行手段を利用して整理券を印刷発行させ、入力抽選条件にしたがい整理券発行条件に含まれる番号範囲内で当選番号を抽出させ

12

かつその当選番号を当選番号ファイルに記憶させ、さらに整理券番号が入力された場合に当該整理券番号が当選番号ファイルに記憶されている当選番号のいずれかに一致しているか否かを照会させ、照会済の整理券番号について照会済の旨を当選番号ファイルに記憶させるものとされている商品販売データ処理プログラムを記憶したコンピュータで読取り可能な記憶媒体であるから、この記憶媒体をコンピュータに読取りさせれば、当該コンピュータを、整理券の印刷発行から抽選等までを迅速かつ正確に行えるという格別の効果を奏することのできる商品販売データ処理装置に簡単に構築することができかつ当該処理方法を実行することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施形態を示すブロック図である。

【図2】同じく、全体動作を説明するためのフローチャートである。

【図3】同じく、整理券の印刷発行動作を説明するためのフローチャートである。

20 【図4】同じく、抽選動作を説明するためのフローチャートである。

【図5】同じく、当選券照会動作を説明するためのフローチャートである。

【図6】同じく、整理券の例1を説明するための図である。

【図7】同じく、整理券の例2を説明するための図である。

【図8】同じく、整理券の例3を説明するための図である。

30 【図9】従来例の動作を説明するためのフローチャートである。

【符号の説明】

10 電子キャッシュレジスタ（商品販売データ処理装置）

11 CPU（整理券印刷発行制御手段、当選番号抽出制御手段、当選番号記憶制御手段、番号照会制御手段、照会済記憶制御手段）

12 ROM（整理券印刷発行制御手段、当選番号抽出制御手段、当選番号記憶制御手段、番号照会制御手段、照会済記憶制御手段）

13 RAM

13F 商品ファイル

13R 売上ファイル

13N 当選番号ファイル

16 HDD

17 FDD

FD フロッピーディスク（記憶媒体）

19 スキャナ（整理券番号読取入力手段）

20 キーボード

50 20C1 発行条件入力手段

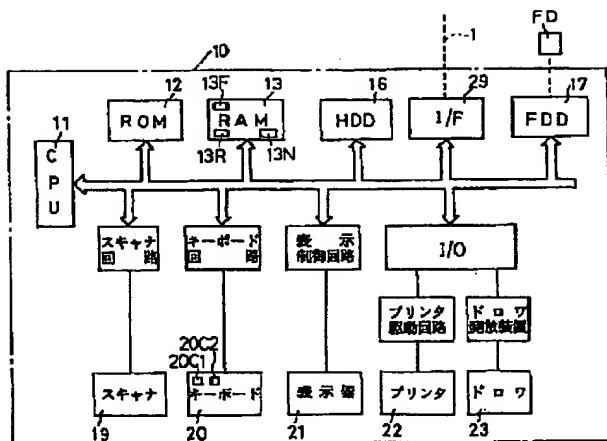


(8)

20C2 抽出条件入力手段  
21 表示器

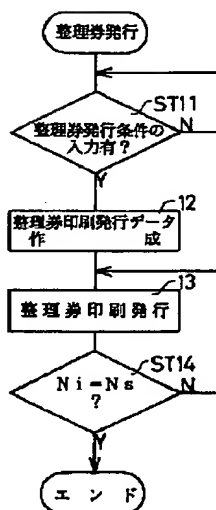
22 プリンタ (印刷発行手段)  
23 ドロワ

【図1】

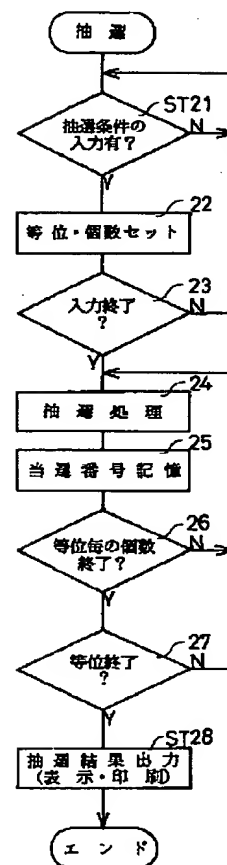


- 10 電子キャッシュレジスタ (商品販売データ処理装置)
- 11 CPU (整理券印刷発行制御手段、当選番号抽出制御手段、当選番号記憶制御手段、番号照会制御手段、照会情報制御手段)
- 12 ROM (整理券印刷発行制御手段、当選番号抽出制御手段、当選番号記憶制御手段、番号照会制御手段、照会情報制御手段)
- 13N 当選番号ファイル
- FD フロッピーディスク (記憶媒体)
- 19 スキャナ (整理券番号読取入力手段)
- 20C1 発行条件入力手段
- 20C2 抽出条件入力手段
- 22 プリンタ (印刷発行手段)

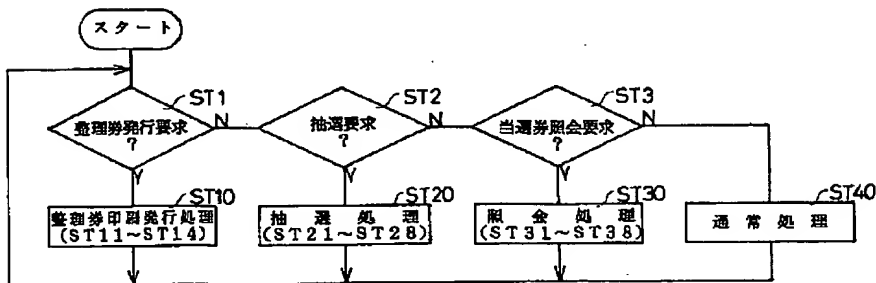
【図3】



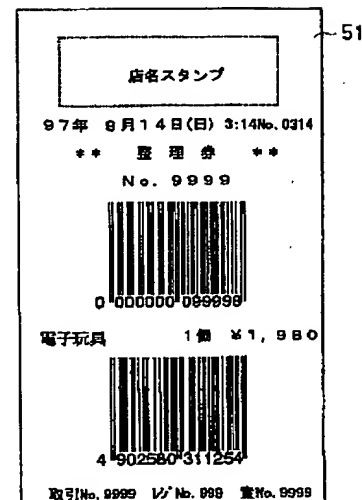
【図4】



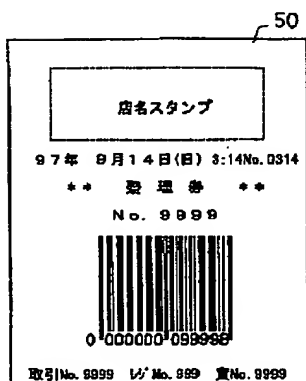
【図2】



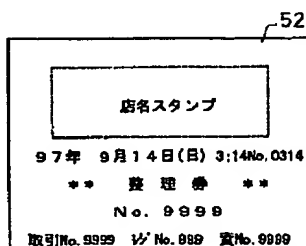
【図7】



【図6】

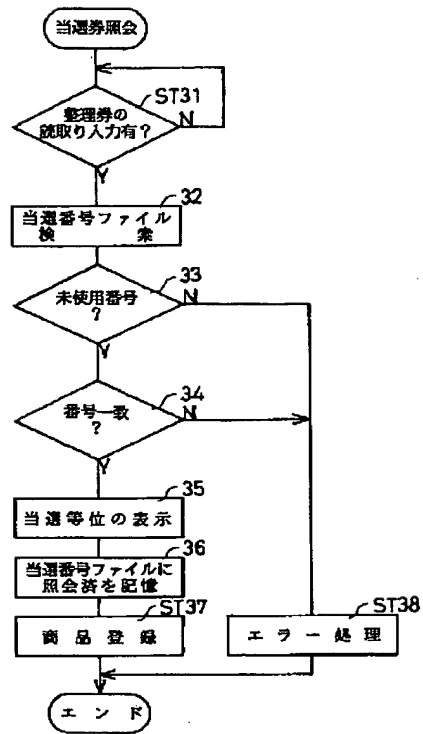


【図8】



(9)

【図5】



【図9】

